

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 20年 8月
(第32～35週)

発行年月日：平成20年(2008年) 9月18日
発行 行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年		感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年	
		1～7月	8月	1～7月	8月			1～7月	8月	1～7月	8月
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	26	0	18
	痘そう	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	1
	南米出血熱(*)	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0		鼻疽(*)	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0		ブルセラ症	0	2	0	2
二類	急性灰白髄炎	0	1	0	0	ベネズエラウマ脳炎(*)	0	0	0	0	
	結核(*)	167	15,260	19	2,694	ヘンドラウイルス感染症(*)	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	ポツリヌス症	0	0	0	0	
	鳥インフルエンザ(H5N1)(**)	-	-	0	0	マラリア	1	26	0	5	
三類	コレラ	0	26	0	11	野兔病	0	4	0	0	
	細菌性赤痢	0	171	0	45	ライム病	0	3	0	0	
	腸管出血性大腸菌感染症	22	1,784	16	1,025	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	
	腸チフス	0	30	0	1	リフトバレー熱(*)	0	0	0	0	
	パラチフス	0	20	0	2	類鼻疽(*)	0	0	0	0	
四類	E型肝炎	0	29	0	3	レジオネラ症	4	494	1	84	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	3	0	2	
	A型肝炎	2	110	1	16	ロッキーマウンテン紅斑熱(*)	0	0	0	0	
	エキノкокクス症	0	8	0	0	アメーバ赤痢	5	503	1	75	
	黄熱	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	3	134	0	22	
	オウム病	0	5	0	0	急性脳炎	1	113	0	20	
	オムスク出血熱(*)	0	0	0	0	クリプトスポリジウム症	0	4	0	2	
	回帰熱	0	0	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	95	0	9	
	キャサヌル森林病(*)	0	0	0	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	72	0	10	
	Q熱	0	2	0	0	後天性免疫不全症候群	9	875	1	121	
	狂犬病	0	0	0	0	ジアルジア症	1	47	0	7	
	コクシジオイデス症	0	1	1	1	髄膜炎細菌性髄膜炎	0	10	0	0	
	サル痘	0	0	0	0	先天性風疹症候群	0	0	0	1	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	梅毒	1	481	0	57	
	西部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0	破傷風	2	65	1	14	
ダニ媒介脳炎(*)	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0		
炭疽	0	0	0	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	49	0	7		
つつが虫病	0	119	0	2	風しん	1	253	1	18		
デング熱	1	37	0	14	麻しん	36	10,521	2	190		
東部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0							
鳥インフルエンザ	0	0	0	0							

滋賀県における全数報告感染症の概要(8月)

<結核> 性別:男性 8名、女性 11名
 類型:患者 15名、疑似症患者 1名
 無症状病原体保有者 3名
 病型:肺結核 15名、その他の結核 4名

<腸管出血性大腸菌感染症>
 性別:男性 5名、女性 11名
 年齢: 0～9歳 7名、10～19歳 2名
 20～29歳 4名、30～39歳 1名
 50～59歳 2名
 血清型・毒素型:O157・VT2 6名
 O157・VT1&VT2 10名

<A型肝炎> 女性 56歳
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

<コクシジオイデス症> 男性 24歳
 推定感染経路は不明で、推定感染地域はアメリカ・アリゾナ州です。

<レジオネラ症> 男性 31歳
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

<アメーバ赤痢> 男性 47歳
 推定感染経路は異性間性的接触で、推定感染地域は日本国内です。

<後天性免疫不全症候群> 男性 40歳
 推定感染経路は同性間性的接触で、推定感染地域は日本国内です。

<破傷風> 男性 33歳
 推定感染経路は創傷感染です。

<風しん> 女性 29歳
 推定感染経路は飛沫・飛沫核感染で、ワクチン接種歴はありません。

<麻しん> 男性 3歳、男性 29歳
 推定感染経路は接触感染および不明です。ワクチン接種歴は2名ともありません。

(*) :平成19年4月1日から集計 - :平成19年は定点把握対象疾患のため未集計
 (**):平成20年5月12日から集計 - :平成19年および平成20年1月～5月11日は未集計

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

8月の概要

<インフルエンザ>

第32～35週(8/4～8/31)におけるインフルエンザの報告はありませんでした。

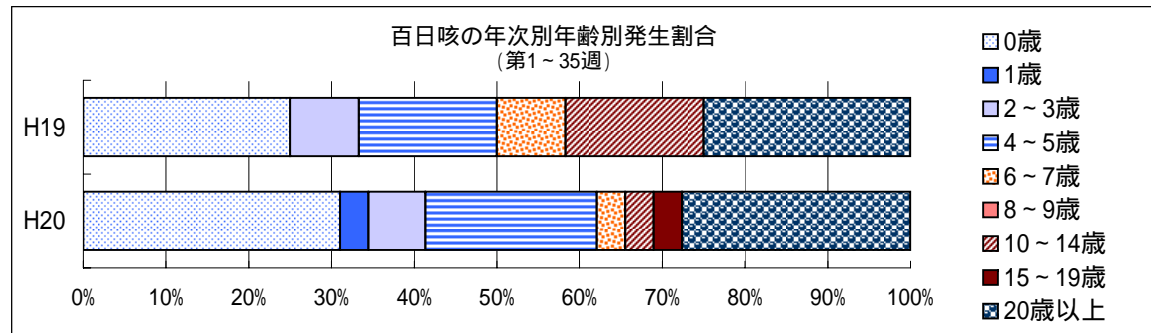
<小児科定点疾患>

各疾患の発生状況については疾病別定点当たり患者数のグラフに示すとおりです。大部分の疾患で先月の報告数より減少していましたが百日咳については増加し、特に彦根からの報告が多くなっていました。平成19年および平成20における第1～35週の年齢別発生割合は、下記のグラフに示すとおりです。

また、警報・注意報システムによる警報および注意報の疾患別発生状況は、咽頭結膜熱(プール熱)は大津、草津で、手足口病は高島で、ヘルパンギーナは長浜で、流行性耳下腺炎は甲賀で警報発生基準値を超えていました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より増加し、急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である細菌性髄膜炎は東近江から、無菌性髄膜炎は東近江および長浜から、クラミジア肺炎は東近江から報告されていました。また、マイコプラズマ肺炎は先月より減少していましたが、長浜からの報告が多くなっていました。



平成20年第1～35週における百日咳の累積報告数は昨年同時期の約2.5倍となっています。また、全国においても過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっています。

年齢別発生割合は上記グラフに示すとおりですが、0歳、1歳、4～5歳、15～19歳および20歳以上で昨年同時期よりやや多くなっています。

全国における発生状況は平成20年第35週現在で、広島県、千葉県、福井県、愛媛県、新潟県の順に多くっており、定点当たり患者数は、それぞれ5.56、5.23、4.77、3.62、3.05となっています。

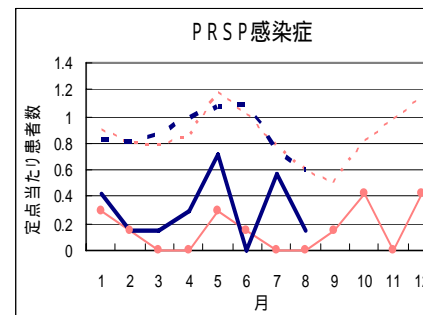
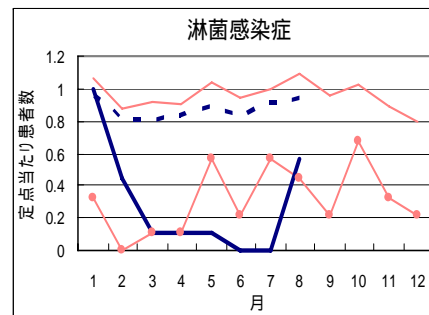
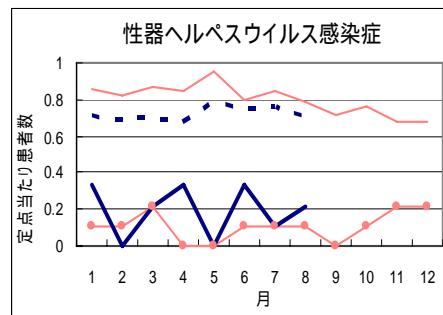
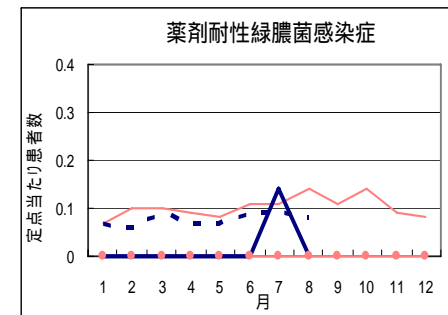
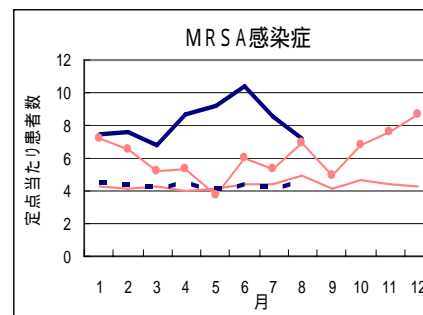
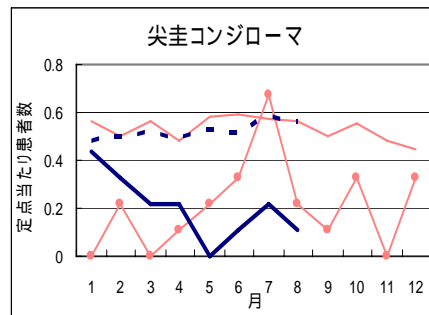
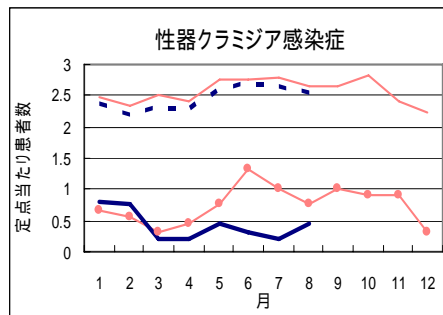
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成20年 8月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	7	7	2	2	4	3	2	4					31
	定点当たり	0.78	0.78	0.22	0.22	0.44	0.33	0.22	0.44					3.43
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	0	2	3	0	3	1	2					14
	定点当たり	0.33	0	0.22	0.33	0	0.33	0.11	0.22					1.54
尖圭コンジローマ	罹患数	4	3	2	2	0	1	2	1					15
	定点当たり	0.44	0.33	0.22	0.22	0	0.11	0.22	0.11					1.65
淋菌感染症	罹患数	9	4	1	1	1	0	0	5					21
	定点当たり	1.00	0.44	0.11	0.11	0.11	0	0	0.56					2.33
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	52	53	48	61	64	73	60	50					461
	定点当たり	7.43	7.57	6.86	8.71	9.14	10.43	8.57	7.14					65.85
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	3	1	1	2	5	0	4	1					17
	定点当たり	0.43	0.14	0.14	0.29	0.71	0	0.57	0.13					2.41
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	1	0					1
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0.14	0					0.14

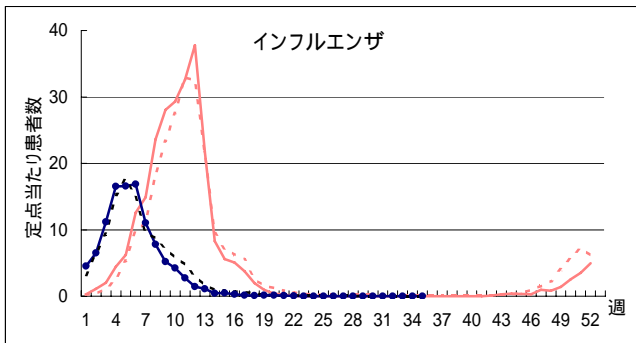


戻る

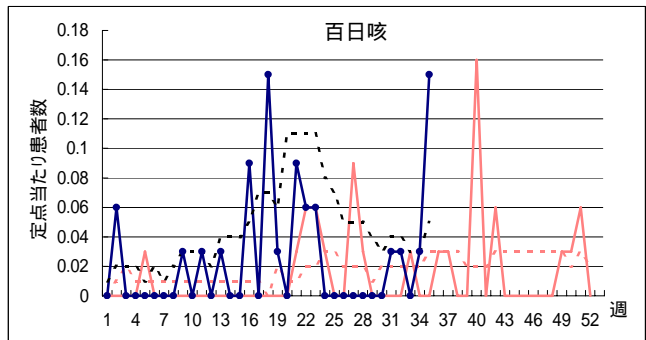
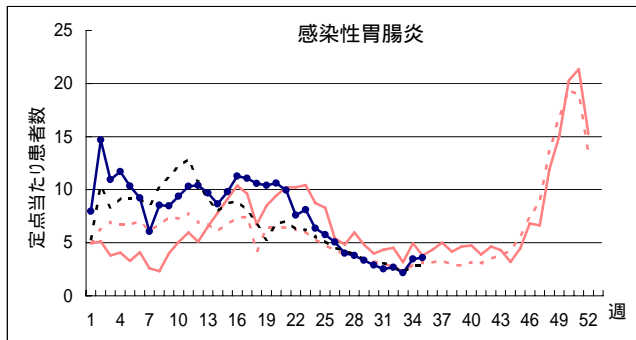
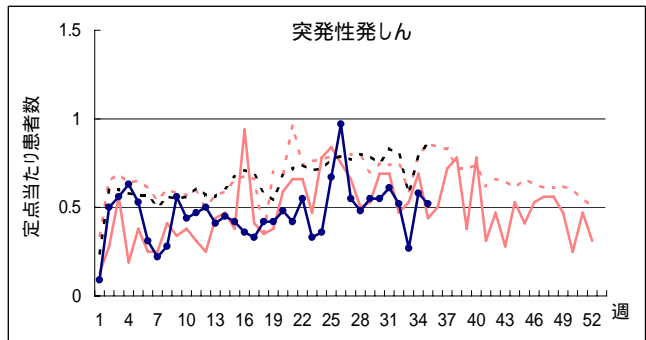
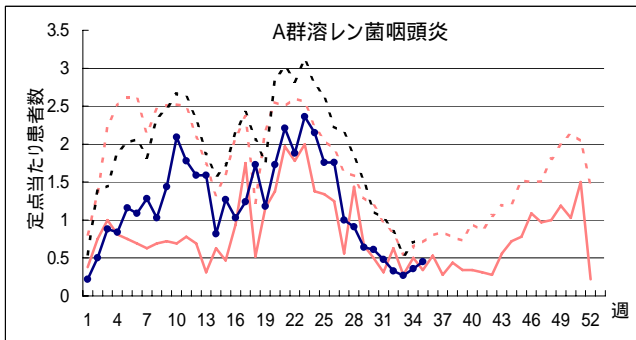
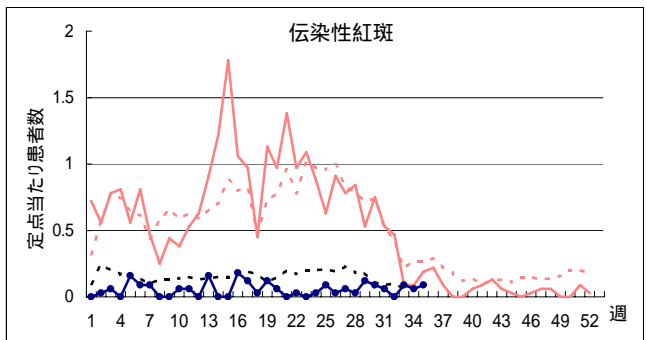
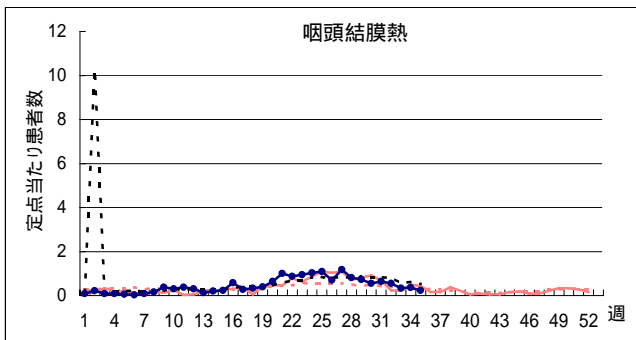
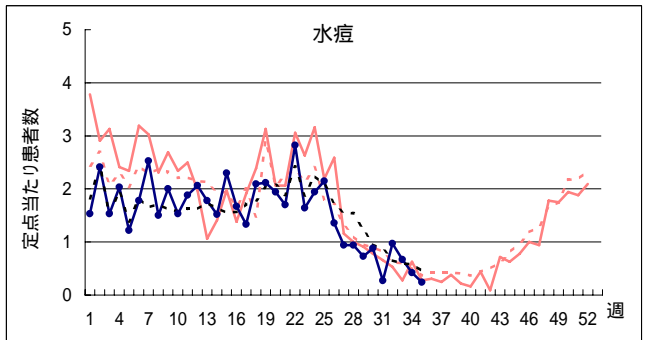
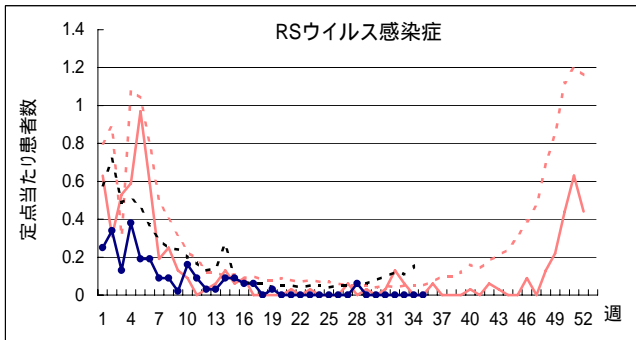
H19 { 滋賀 (red solid line)
全国 (red dashed line)
H20 { 滋賀 (blue solid line)
全国 (blue dotted line)

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

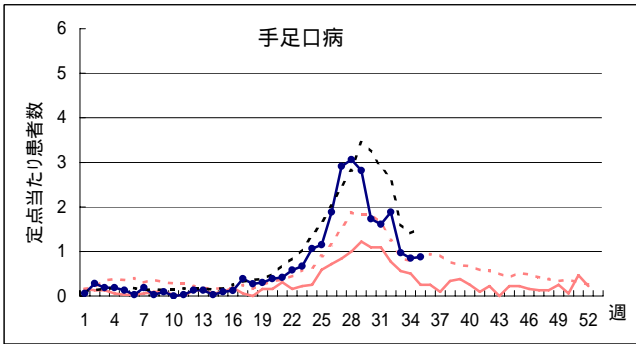
疾病別定点当たり患者数(平成20年第35週、H19.12.31~H20.8.31)



H19 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H20 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第35週、H19.12.31～H20.8.31)



H19 { 滋賀 ————
 全国
 H20 { 滋賀 ●●●●●●
 全国

